

好き嫌いして経営する

感情に左右されることなく理性的判断を、という。理性的とはたとえば「中国は人命軽視、人権侵害が甚だしい」といふ言論の自由のない怖い国である。しかし人口が多く将来に亘って需要が見込めるので進出した」といった数字と商売第一の判断である。これが感情より優れた判断と何故言える？

自分を信じて主義主張を貫く

荒田新は頑固者の部類に入る。人の好き嫌いが極端で、嫌いな人と親しくなることは滅多にない。研修では「嫌いな人にも笑顔で自分のほうから挨拶してみなさい。それを続けなさい。相手も心を開いて、嫌っていたのが霧散して人間関係がよくなります」と教えている。

荒田も挨拶はするし言葉も交わす。しかし嫌いな相手にそれ以上自分のほうから接近することはないし、相手が近付いてくれば後退りして逃げ出す。

荒田が嫌うのは「我が身を守るのみ」のエゴイスト。「何事でも我はよく人は皆悪しと思う」傲岸不遜の人である。言いかえると人間を知らない、愚痴の人である。会社を始めてすぐの頃、幹部社員が「一人が欲しいですね。それかどうかなんでしようね」と言った。SはTとは犬猿の仲で、前の会社ではいつも露骨に対立していた。荒田はSを採用したがTには声を掛けなかった。声を掛ければ、仕事に困っているTが馳せ参じるのは目に見えていた。

荒田もS同様にTが嫌いだ。会議で自分がいかにかい仕事をして実績を上げているかを臆面もなく力説する。それで終りなら許さず、入ったら即座に自分は身を引こうと思っている。

経営管理講座 363 染谷和巳

Sは思いやりのある苦勞人でTのように他を踏み台にして自分だけ上へ行くとうとするさもししい心の人ではない。しかし人を見る目が無い。

有能だし読書家だがその割に人間というものに対する理解が浅い。十年以上親しく付き合っているのに荒田の性格が解っていない。人間通とはいえないと思った。

またこんなこともあった。あまり話したこともないKが荒田を訪ねてきて「あなたがボスになつて同業組合を作ってくれ」と頼んだ。個人で商売している人が何十人もいる。自分も一人でやっており今年には五千万円の売上げを上げた（Kはここで「どうだ」と自慢気な顔をした）。しかし一人は不安定でこのような好調がいつまで続くかわからない。会員の取りまとめは自分がするから荒田に頭になつてもらいたいと言った。

「ほう、五千万円。すごいですね。私は自分の仕事で手一杯で組合など興味ないです」と荒田。Kはハツとした顔で「あの暴力事件ですね、ああいうこと私は二度としませんから、お願いします」と頭を下げる。

「原発反対は票になる」と野党議員選挙で「原発反対」だけで当選した人が何人も出た。

「原発反対は票になる」と野党議員選挙で「原発反対」だけで当選した人が何人も出た。

賢人は空気に逆わず口舌を

ポピュリズム（大衆迎合主義）を掲げ、与党候補者はこれに触れないよう神経を使う。前の参議院議員選挙で「原発反対」だけで当選した人が何人も出た。

政治家は自己の信念に基づく主義主張よりも大衆が何を求めているか、何を言っているかを重視して大衆が気に入ること、賛成することをまるで自分の意見のごとく論ずるようになった。それにより近年、男女共同参画社会基本法、個人情報保護法、働き方改革法、移民法などの悪法が次々世に出ている。

「アメリカのトランプ大統領の言動の原動力は『何をしたいか』ではなく、何をすれば歓呼喝采を受けらるか」にある」と社会学者の竹内洋氏が言っている。

トランプ大統領は国民が喜ぶ政治を行おうとしている。現に高関税をかけて自国の企業を守り、国境に不気味な壁を設けて外国人侵入者を阻止しようとしている。それを求める人、賛成する人、歓迎する人がいるからである。

他国のことや将来のことを考えないで近眼大統領である。ポピュリズムは昔からあった。七十四年前日本はアメリカとの戦争に負けて占領された。戦前戦中を通して「戦争」は国民の総意であった。

大学教授も小説家も朝日新聞をはじめとする新聞雑誌も、会社のはじめとする新聞雑誌も、会社の

儲かっても中国へは行かない

老子は「我に三五あり、一に慈、二に儉、三に敢えて天下の先とならず」と処世の道のあり方を述べている。慈しみの心を第一にあげている。慈しむとは弱い者を許すこと、助けてあげることである。飢えた人が食物を盗むのを見たら見逃す。それが慈の心である。

ある精密部品メーカーの会長は「中国から何度も来てくれと要請があったが全部断った。行けば商売になるのは解つていますが、行きません。私が中国が嫌いだからです」と言っている。たとえ非難されても自己の信念を貫く人、この会長はポピュリストと反対の人である。荒田の同志、やはり頑固一徹の人である。節操」とは好き嫌いをしつかりはつきり持つことである。自らを偽って嫌いなものに、好きなら「を」をしないことである。